

# 豊中の未来を描こう！！

発行 2014年 8月

かんばんこういちろう

## 神原宏一郎の つながり通信

～生活・社会そして人・・・すべては政治とつながっている～

VOL. 94

梅雨が明け、  
寝苦しい日が、  
続きますね。

豊中市議会議員  
無所属・未来派

### 関心・期待感・信頼感を抱く政治へ

#### ◆ 7月臨時会・代表質問と答弁・意見 ◆

4月の市長選挙に伴い、7月臨時会で示された本年度の本格予算案と市長の施政方針に対し、会派として特に『持続可能な行財政運営の確立』という視点をもって、質疑、提案、要望を行いました。

#### ①市有資産のマネジメントについて

Q. 土地を含めた各施設、各インフラなど公共資産の毎年かかる維持管理費、将来的な改修、更新費用を明確にすべきではないか？

A. 維持管理費、将来的な改修、更新費用については、今年度「市有施設有効活用計画」の見直しを行う予定で、その中で、中長期的な試算を行う。また、その試算結果に基づき、将来の財政見通しを踏まえ、施設総量のフレームを設定し、今後、これを踏まえて、廃止、統合、転用など、具体的な施設の見直しを進めていく。

(意見)市有資産の維持管理費の総額、建替えが必要な時期や建て替えが必要な場合の将来的な負担額を算出し、身の丈に合った市有資産の保有計画を早急にたてるべき！！

#### ③(仮称)豊中ブランドについて

Q. 都市ブランドは、多くの人に「行ってみたい」「住んでみたい」「住み続けたい」と思わせる良質な都市イメージを指すが、今回組織される豊中ブランド戦略策定委員会には何を諮問するのか？

ブランド戦略策定前に約500万円かけて梅田駅に広告を掲載することは、無駄な支出にならないか？

A. 豊中ブランド戦略策定委員会には、豊中の都市ブランドの向上をめざす取り組みの基本的な方向性、施策体系など議論してもらおう。様々な手法で継続してPRすることが大切であり、ブランド戦略の完了を待つまでもなく実施したいと考えている。

(意見)今回の梅田駅での広告掲載はとよなかの都市ブランド戦略が策定される前に行われることになり「戦略なき戦術」は差し控えるべき！！

#### ②自治体間の公共施設の共同設置について

Q. 公共施設を複数の自治体が共同管理し、複数の自治体の住民が利用できるようになれば、効率的、合理的な施設管理が可能になるのではないか？

A. 施設の相互利用とは違い、迅速な意思決定が困難であることや構成団体の意見が反映されにくいことがデメリットとして考えられる。また、自治体間の費用負担の調整が困難といった問題もあり、現時点では実現は困難。

(要望)どの自治体でも市有施設の有効活用や老朽化による整備、管理運営、配置の最適化を検討する今日、自治体が単独で公共施設の戦略的配置を考えることに固執せず、自治体間で共同して検討して欲しい！！

#### ④窓口業務の一元化及び民間委託について

Q. 他市では各種窓口の一元化や民間委託により、手続きにかかる時間の短縮、効率的なサービスの提供など市民サービスの向上を図っているが、豊中市でも実施を検討すべきではないか？

A. 「窓口の一元化」については、「庁舎のスペースの問題」や「職員が身につけなければならない職務遂行能力」など、すぐには解決できない多くの課題がある。また、窓口業務の「民間活力の導入」については、様々な視点から検討を進め、今年度、「窓口業務の委託化の方針」を明確にする。

(意見)窓口業務の一元化や民営化を実現することで、手続きにかかる時間の短縮、効率的なサービスの提供など市民サービスの向上に繋がることが予想される。窓口の一元化について、庁舎スペースの問題は一定、理解するが、せめて市民が各種手続きをするために第1庁舎と第2庁舎を行ったり来たりする現状の解消は早急に図るべき！！

## ⑤将来負担に対する考え方について

Q. 市が示す将来負担比率には、既存のインフラ施設の更新、維持修繕に必要な費用は全く加味されていない。これらの費用負担も含めて将来負担と言うべきで、このような考えに基づいた数値、指標をもって将来負担を考察すべきではないか？

A. 施設・インフラの更新費用等の試算は、財政指標として財政の健全性を判断するものとは性格が異なると考えている。また、その数値をもって、市民に将来の負担であると説明することは、慎重に捉える必要があると考えている。

**(意見) 現行の将来負担比率では、将来世代への負担が明確に表せておらず、数値では現れない形で将来世代がツケや負担を背負わされることになる。既存のインフラ施設の更新、維持修繕に必要な費用等も含めた形での将来負担を数値化し、持続可能な財政指標の一つにすべき！！**

## ⑦職員定数について

Q. 運転手・車掌と言う職種が平成24年度で吹田市29人、高槻市188人(市営バスを含む)、枚方市5人、東大阪市0人、豊中は117人で豊中が突出している。地方自治法が求める『最少の経費で最大の効果』を踏まえ、職員定数についての見解は？

A. 引き続き、事務事業の効率性と有効性の双方の向上を図ることができるよう、事務事業の見直しを進め、より効果的・効率的な執行体制を確立していく。

**(意見) 市の見解は自治体に求められている当たり前の考え方であり、状況認識が甘すぎる。市の理屈で言うと、財政規模が縮小しても事務・事業は減らないので職員も減らさず赤字体質になるというかつての状態に逆戻りしてしまうのではないか！！**

※詳細は、ホームページ・議会報告をご覧ください。

[http://www.geocities.jp/positive\\_square/](http://www.geocities.jp/positive_square/)

※公式記録については、市議会会議録検索まで。

<http://toyonaka.gijiroku.com/gikai/>

※ご意見・ご感想をお聞かせ下さい。

[young\\_spiritjp@yahoo.co.jp](mailto:young_spiritjp@yahoo.co.jp)



## ⑥晩婚化・晩産化の現状と課題認識について

Q. 晩婚化が晩産化につながり、晩産化が少子化につながっている実態を調査し、対策を講じる必要があると思うが、市の見解は？ 現行の市の少子化対策では万全ではなく、結婚したくても出来ない方、子どもを産み育てたくても出来ない方のニーズに応えきれていないと思うが、市の見解は？

A. 現在では実態調査をするまでもなく、既に少子化が進行しており、待機児童の解消など迅速な対応を図っており、本市が晩婚化・晩産化について、直接、対策を講じることは予定していない。

**(意見) 結婚したり、子どもを産み、育てることは個人の自由だと思うが、市が少子化対策は必要だと言うのなら、結婚したい、子どもを産み、育てたいと考えておられる方に対する支援は適切かつ積極的に行うべき。まずは、結婚はしたい、子どもは産み、育てたいが叶わないと思っておられる方々の意識、ニーズ調査を行うべき！！**

## ⑧市民意識調査について

Q. 総合計画の進行管理及び評価を行うため、2年に一度、『市民意識調査』を実施しているが、市民満足度に関する調査では、かなりの項目で、「わからない」と回答された方の割合が最も多かったが市の見解は？ また、市民の重要度が低い施策については、施策展開の見直しが必要ではないか？

A. 「わからない」という回答については、この回答自体にも、市政への関心、理解について市民意識が表れていると認識している。重要度が低いと評価されたものも、今後も重要で取り組むべき施策であると認識している。

**(意見) 多くの市民が「わからない」と回答されたことに対し、設問の改善を図らなければ、市民の回答を総合計画の見直しに活かしようがない。もっと、市民の意識を的確に把握する意欲を持つべき！！**

**税金をかけて意識調査をし、市民は時間や労力をかけて協力しているのだから、もっと、市民の負担や手間が報われる、市民が納得のいく、市民意識調査になるよう努めるべき！！**

## 発行元 前向きひろば ~Positive Square~

〒560-0021 豊中市本町 3-1-20 エルビル 2 階

TEL & FAX: 06-6854-5664

平日(祝日は除く)の 10 時から 17 時はスタッフがおります。

[young\\_spiritjp@yahoo.co.jp](mailto:young_spiritjp@yahoo.co.jp)

[http://www.geocities.jp/positive\\_square/](http://www.geocities.jp/positive_square/)

Facebook 活用しています！！

「つながり日記」毎日 HP で更新中！！

※ご希望の方には通信を無料でお届けします。お気軽にご連絡ください。

